

## 令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問

事業名：【移動型プレイパークでのびのび遊べるまちをつくろう！2年目】

## ○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくをお願いします。

項番	意見
1	プレイパークの取り組みはたいへん意義が高い
2	コロナ禍でもすれば希薄になるコミュニティ内の繋がりを子供の遊びを核として創造していこうとする素晴らしい事業です。今後も行政との協働が続くことを期待します。
3	プレイワーカーの育成につながる体制を望む。
4	NPOとしての収支がアンバランス。
5	事業の目的と実績は素晴らしく、是非、継続・発展させていただきたい。この事業はモデル事業としての位置づけであり、地域住民が主体的に推進することができるようにするために、プレイワーカーの育成や事業主体への支援が主となることが本来の目的としている。しかしながら、前回の結果にあるように、「運営主体やプレイワーカーは育てない」とのことで、移動型プレイパーク運営に加えて、人材育成の事業（例えば、座談会がどのような内容か不明であるが、育成講習会などの継続開催）を強化することも有効ではないかと思えます。
6	昨年に引き続きの事業で、その成果を生かし、地域に運営主体を引き継いで、継続できる体制を整えるという点を、期待しています。
7	発展性については、その地域の方に運営主体を引き継ぐための方向性を知りたいです。
8	対象者を乳幼児から幅広くしている。
9	2年目であるので、市は協働事業としての位置付け（必要性）を判断し、次年度以降の事業化を検討すべきである。
10	・プレイワーカーへの謝金を経費の約7割を占める点が外部の専門家に事業を委託している印象を受けます

## ○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
4	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 昔遊びには、近年保護者も知らない、危険なものもあります。例えば、ナイフ等刃物の取り扱いで怪我人が発生したり、鬼ごっこで道路に飛び出での交通事故やたき火も危険性が伴うと思えます。	
4	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 地域活動において、同様なことに取り組んでいます。子どもが集まりにくく、保護者もあまり積極的ではない印象を持っていますが、現状をどう捉えていらっしゃいますか。	
9	【事業計画書 8事業の実施体制】 3名が記載されていますが、現場で活動するボランティアは何名の予定でしょうか。	
10	【事業収支計算書】 活動内容に対して、プレイワーカーへの謝金・報酬がNPOとしては多すぎませんか。支払算出根拠の提示が必要だと思います。	
10	【事業収支計算書】 プレイワーカーの数は7名と思われるが、事業実施のために十分な数でしょうか。予算上の制限から抑えているのでしょうか。	
10	【事業収支計算書】 支出①②のプレイワーカー謝金が2種類あるのはなぜですか？	
10	【事業収支計算書】 支出④の交通費の内訳をお知らせください。	
24, 25	【活動予算書、活動計算書】 事業収益があり、そのほとんどが給料手当てと思いますが、NPOである必要があるのか疑問です。	

## ○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
事業名：【妊娠期からの多胎ファミリー教室】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくをお願いします。

項番	意見
1	マッチングファンドで行う必要があるのか疑問（各区の「ふたごの集い」はふたご以上が対象なのでかぶっている）
2	行政の手の回らない、けれども必要な施策を市民活動団体がしっかり支える構図と考えます。
3	「多胎」に特化して、多角度からのアプローチを評価。
4	回数が増えるごとの謝金が気になります。スタッフも広報と考えると多胎にこだわらなくてもよいのではないかとおもいました。
5	市と協働することの意義が高い事業と考えます。
6	人口減少下社会で、多胎児の育児支援は大事。妊娠～出産は行政がすべきこと。
7	私には理解度が不足していると思うが、多胎の家庭では大変なことが多いのではないかと推測され、目標実現に向けて成果を出してほしい。
8	多児妊娠の教室の取り組みは行政では少ないとのこと、必要とする人に、行政と協働して届ける取り組みは、マッチング事業として有効なものと思います。
9	助成金がないと全く成り立たない事業と思われることに不安があります。但し、必要な事業とは思いますが。
10	多胎を妊娠中から産後まで様々な形で支援している。
11	市における事業化を見据え、内容や進め方を検討すべきである。
12	着眼点が素晴らしい。さいたま市以外で活動をしている団体で参考にできる活動はあるのか？
13	・ふたごみつご家庭対象がよいか、ふたごみつご家庭を支える社会対象がよいかプレゼンで確認したいと思います

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
4	【事業計画書 3事業により期待できる成果・効果】 地域保健師と繋がる方法は、どのような形で行われているか。	
6	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 「持続的な収入源の確保」とありますが、具体的な計画をお知らせください。今回の事業収支計算書には見られませんが、一部でも試行してはいかがでしょうか。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 各区で行われている「ふたごの集い」はふたご以上が対象とあり、多胎児育児支援の会がすでにあるということではないかと思えます。マッチングファンドで実施する意義はなんのでしょうか。	
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 多胎児の出産後のフォローは市民の理解と協力が望ましいが、妊娠-出産の支援は、本来、地域保健支援課が行うべきことだと思います。	

令和5年度さいたま市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
 事業名：【まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識vol.2】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	学校など一般に行われる性教育に不足している点を補う重要な取り組み
2	行政には不得意なこの分野をカバーして市民のニーズに応えることができれば、さらに多くの部署を巻き込んで展開できる事業だと考えます。
3	「性」というセンシティブなテーマに取り組む姿勢を評価。
4	とても必要で、継続していかなければならない活動だと考えます。
5	大人が知ることで子どもへの適切な対応の仕方を学ぶというのは社会貢献度の高い事業と考えます。
6	「外部講師」とあるが、それが誰かが重要だと思います。そこが明記されていないのは少々問題だと思います。
7	自分の問題というより、社会に理解を求めることが大事なのでは？
8	性に関する課題は時代の変遷にも大きく左右され、特に情報が氾濫する現代にあっては最重要課題といってもよいと思う。そのためにも地道な活動が最も大切であり、少しずつでもその輪が大きくなることを期待します。
9	昨年に引き続きの事業ですが、前回と同じような内容なのが気になりました。継続の必要性、自主運営のために参加費を有料するなど、昨年の成果をどう生かし、実現していくのか、具体的な考えを確認したい。
10	代表者を含め、どのような立場の方が情報が少ないため、組織体制の判断が難しいです。
11	オンライン配信を継続的にやっている点が良い。
12	2年目であるので、市は協働事業としての位置付け（必要性）を判断し、次年度以降の事業化を検討すべきである。もしくは、寄付等を含め、自立できる運営形態を模索すべきである。
13	内容的に印刷物でする必要があまり感じられなかった
14	・講師3人で9万円の詳細記載望む ・オンライン主体でありながら印刷費や送料にお金がかかっている点が改善出来ないですか

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 オンライン・オンデマンドなので、さいたま市以外への発信も問題ないのでしょうか。	
5	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 「収入源の確保」とありますが、今回2年目であり助成金が次年度以降得られないことを見越し、「収入源の確保」の試みを今回の事業に盛り込むべきではないのでしょうか。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 学校など一般に行われる性教育に不足している点を補う重要な取り組みです。今回の応募にあたって「つながるBOOK」をさいたま市内に限って配布するように協働推進課から要請があったときいています。それには教育委員会の協力が不可欠です。後押しをお願いします。	

令和5年度さいたま市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問

事業名：【さいたまOrganic City Fes.】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	今年度の事業を見学しました。大変な盛況ぶりで市民の期待の高さを感じました。今後は環境・消費生活などの他部署とも連携できると全市民的なムーブメントとなりえると考えます。
2	二回目なので、農産物販売に留まらず、新しい展開に期待。
3	申請番号7の事業と同様の企画であると感じました。このような企画を考える団体自体を繋いでいくことが、新たな協働に繋げることになるのではないかと思います。
4	有機農法を言うなら、循環型伝統農法の見直しを語るべきでは。
5	食の安全、安心が叫ばれて久しく、有機農業についてもかなり知られているが、認証制度や価格面の課題もあって思ったほど伸びていないかもしれない。だからこそ、このように地道に広げていく活動が大切なので根気よく継続してほしい。
6	昨年に引き続きの事業ですが、前回と同じような内容なのが気になりました。市との協働のほか、マルシェであれば流通や販売など、市や県内の企業や商店街とのマッチングなど、別の形での支援も合わせて新たな展開も期待したい。
7	さいたま＝有機農業というイメージを定着させて欲しい。
8	チラシにかかる費用が高く、税金による助成事業として適正か疑問である。ステージも含め、助成金を使用する経費として適切でないものは自己資金で負担すべきである。
9	・高額の宣伝費（チラシ）を費やし、出演料を払っての出演は自立しての活動が難しいように感じるためご検討を望みます

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
4	【事業計画書 4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 有機栽培を作る人、食べる人に感心しています。マルシェイベントを通じ、市民の中に（家庭菜園）に取り組んだ参加者はいますか。	
4	【事業計画書 4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 農業従事者が減少していることについて、どうお考えですか。	
4	【事業計画書 4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 有機栽培は種類によっては、市場に出せないものもあると思います。化学肥料（有機質入り）を使用しないと消費者が好むものはできない現状をどう思いますか。	
9	【事業収支計算書】 支出①の140,000円の内訳各項目の金額の想定をお知らせください。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
6	【事業計画書 6 助成終了後の事業展開】 「終了後も行政と継続して協働する事業体制を組む」とありますが、所管課にはその用意があるのでしょうか。有無とそのレベル（予算要求・人員配置・会場や備品等の協力・共催や後援として広報協力 など）を知りたいです。	

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
事業名：【自治会役員向けデジタル活用講座】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくをお願いします。

項番	意見
1	マッチングファンドで行う必要があるのか疑問（自治会には予算あるのでは）
2	今までのICT事業が事業後の次の一手まで考えられていなかったのに対し、この事業は次の次までの展望を示していて期待できると感じました。
3	実践につながる事業として、経過、結果を見ていきたい。
4	岩槻区コミュニティ課が一緒であることやボランティアも充実していることから活動に安心感がある。晩年が残念にならないように、楽しさだけでなくモラルや危険性についても指導していただきたい。
5	講座を通じて地域コミュニティの活性化に発展することを期待します。
6	各ネットサービスや販売店でも活用講座をやっているのに、これが積極的に必要な企画なのかは少々わかりませんでした。
7	自治会費では不足？
8	パイロット事業との理解です。
9	代表者がICT系の仕事の方だと仕事につなげるためとの見方も出てきます。ICTは、便利な反面、情報漏洩などもあるため、便利以外の面も説明必要。→協働した自治体のリスクあり。
10	岩槻区だけでなく、岩槻発としてさいたま市全区などへの発展性がある。
11	市における事業化を見据え、内容や進め方を検討すべきである。
12	活動自体の意義は高いが、あまりに高い壁で実現できるのか、不安が残った
13	・講師謝金や動画撮影・編集等外部委託が多い場合、自立しての活動が困難に思われる ・サポートデスクの開設に期待します

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
4	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 事業の実施主体について、「団体と所管課で協議のうえ」となっておりますが、主体が決まっていないうちで審査対象するのは問題ないでしょうか。	
7	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 「岩槻発で他のさいたま市の区だけでなく、さまざまな市町村に展開できるようにと考えています。」と記述されていますが、ある程度の計画や構想はあるのでしょうか。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 このような取り組みは所管課が主体的に行うべきものではないですか。自治会のために確保されている予算でまかなえるのではないのでしょうか。マッチングファンドで行う意義を知りたいです。	
4	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 事業の実施にあたり、さいたま市自治連との協議はどうなっていますか？	

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
 事業名：【日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	岩槻区民の強い絆が地域の盛り上げに貢献していると感じます。全市的なイベントとなるよう市民に告知して欲しいです。
2	一年を通して実施できる事業としての発展性を望む。
3	民間のクラウドファンディングなどを利用して集金可能な企画だと思えます。祭りの実施がメインで、経費の適正に関しては「1」としました。他財源獲得も同時に目指してほしいと思えます。
4	日本の伝統行事は気候風土に即したものの。奥深い情報発信が欲しい。
5	時代の変遷により、身近な伝統行事が簡素化や失われて（失わざるを得ない？）いくことは残念であり、節句人形の町としての岩槻から全国に発信することは必須です。
6	春のハロウィンとして、市と協働し、人形の町岩槻の新たな観光資源に育つことを期待しています。
7	団体のR4年度予算がマイナスで組まれている状態なので、そこに91万円助成することに不安があります。但し、5月に新しいイベントは成功すれば地域貢献になると考えます。
8	岩槻の人形を節句（今年度は端午）に焦点を当てていて良い。
9	商店街（組合）との連携も視野に入れ、市として事業化する気があるのか、位置付けを明確にすべきである。
10	イベントは5月に1回だけなのか？もう少し継続的な活動をしてはどうか？
11	・高額な事業費により自立しての活動が困難、また謝金単価が高価に思われる ・規模の大きなイベント開催のため、過去の実績と合わせて適正な判断が必要

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 3回目の申請とあるが、五節句の内、今回は端午、今までは上巳（桃の節句）とのこと。今後の計画（ほかの節句の計画）などはあるのでしょうか。	
4	【事業計画書 4 この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 *この課題に取り組む団体の思いとして「少子化が課題となっている日本だからこそ」とありますが、表面的すぎると思えます。子育て世代が希望を持ってない社会状況はお祭りの盛り上がりでは解決されません。	
7	【事業計画書 9 他団体との連携状況】 「地域商店会」の記載がありますが、具体的な内容をお知らせください。 商店街において実施すること、商店会が主体の一部を担って商店会の資金を活用して実施すべきではないのでしょうか。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和5年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 委員からの意見及び質問  
事業名：【Happy マルシェ】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	マッチングファンドで行う必要があるのか疑問（すでに自立し発展している印象）
2	「さまざま主体が連携協力できるネットワークを作ることができます」とのことですが、具体的にどうやって作るのか知りたいです。
3	物販だけではない趣向ある催事に期待。
4	協働についての宣伝や相談のブースがあるとよいと思いました。
5	申請番号4の事業と同様の企画であると感じました。このような企画を考える団体自体を繋いでいくことが、新たな協働に繋げることになるのではないかと思います。
6	助成ありきの活動は続かない。テーブル、椅子等の備品は賃借ではなくこういう機会に購入し、少しずつ資産としていくべき。
7	都市部における住民の交流が希薄になるのをなんとかつなぎとめようとする活動は大切であり、根気よく継続して小さな輪が大きくなることを期待します。
8	既存のふれあいフェス、毎月のマルシェに加え行う意義が今一つわかりにくい。
9	直前の事業収支がマイナスであること、会費を徴収していないので、今回も自己資金0円はかなり不安があります。
10	近年、気迫になりつつある地域での近隣との交流の再生が良い。
11	協働の必要性が低い。告知の協力や紹介であれば、後援を得るだけで十分では。
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>単なるマルシェだけではなく野草散策ツアー、野菜収穫体験、料理教室の開催は期待が膨らみます</li> <li>自立性を考えると出店料＝経費、イベント経費＝参加費の収支バランスの改善を期待したいと思います</li> </ul>

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 道路管理者及び高架下の使用許可はどのように進めるのでしょうか。	
4	【事業計画書 4この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 *この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたこととして、毎回400～500人のマルシェを毎月開催しているとあります。すでに自立・発展している取り組みと同じものをマッチングファンドで行う意義を知りたいです。	
5	【事業計画書 5市との協働に期待すること】 市との協働に期待することは「告知の協力」とのことですが、告知の協力や紹介だけであれば、後援を得るだけで十分ではないのでしょうか。それでも協働事業として申請する理由はなんなのでしょうか。	

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 4この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性】 *この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたこととして、毎回400～500人のマルシェを毎月開催しているとあります。すでに自立・発展している取り組みと同じものをマッチングファンドで行う意義を知りたいです。	